

青少年相談員会報

令和2年3月15日発行

第90号

さ き が け

発行 水戸市青少年相談員連絡協議会(事務局 水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課 ☎029-306-8692)



視察研修(前橋市役所)

青少年相談員の皆様に向けて

水戸市教育委員会

教育長 志田晴美



水戸市青少年相談員連絡協議会の皆様には、街頭補導や社会環境向上活動など、青少年の健全育成のために多大なご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、今日の青少年を取り巻く社会環境は、目まぐるしく変化しており、基本的な生活習慣の乱れや、希薄な人間関係、自然体験の減少等、青少年に関する様々な課題に加え、本来、青少年を見守るべき家庭や地域の教育力の低下が指摘される状況にあります。

このような現状に対し、家庭、地域、学校及び行政が相互に連携を図りながら、次の時代をリードする青少年を社会全体で支え、見守っていくことは、非常に重要なことであると考えます。また、実際に街頭に出て青少年と接し、声かけをとおして青少年のトラブルの早期発見、未然防止につなげる青少年相談員の活動は、極めて重要なものであると認識しております。

本市といたしましても、水戸市青少年相談員連絡協議会の皆様のお力添えをいただきながら、青少年の健全育成に向けた取組を推進してまいりたいと考えておりますので、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、水戸市青少年相談員連絡協議会の益々の御発展と、会員の皆様の今後の御健勝をお祈り申し上げます。ましてごあいさついたします。

視 察 研 修

R1.11.17~18
郡 司 一 也

令和元年度の視察研修に参加しました。参加者だれもが社交的で話しやすく、旅好きの自分と趣味の合う方も多くいらっしやっただけ、相談員初心者で他に知り合いがないという不安は、出発してすぐ解消できました。

一日目は、宿泊地の伊香保温泉までの途中、おもちゃと人形自動車博物館や水澤観音などを見学しました。そして、夜の懇親会では、日頃のストレスも忘れ、とても楽しいひとときを過ごすことができました。

二日目は、前橋市役所において、青少年支援センター・いじめ対策室の取組について説明を聞き、意見交換をしました。個人的には、年三回の列車内補導や土曜日補導の取組、前橋市内の公立学校と警察署および青少年支援センターを結ぶ「C4h 連絡掲示板」の仕組みなどに興味を持ちました。

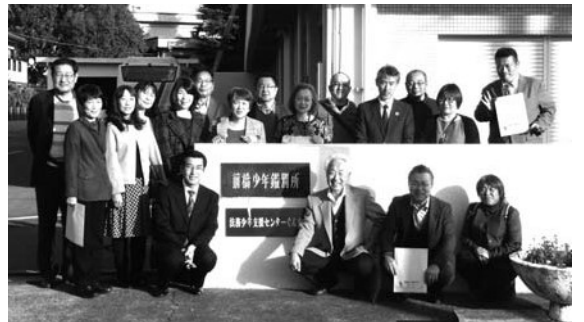
次に、前橋少年鑑別所に行き、施設および活動内容の説明を受け、



施設内を見学しました。少年審判の流れや、鑑別所内での生活（観護処遇）の様子などが良くわかりました。

今回の研修に参加して、新たな知識を得ることができ、有意義な時間を過ごすことができました。何よりも、相談員として活躍されている方々の豊かな人生経験や魅力ある人柄に触れることができたのが良かったです。

幹事として研修を盛り上げてくださった視察研修部会の方々に感謝します。



今や小学生の4割がユーチューブを閲覧し、中学入学後にラインデビュー。高校生になるとツイッターやインスタグラムが増加するという実態に、親世代はほとんどついていけないという状況です。

2月18日、LINEオフィシャルインストラクターの鈴木利絵先生を講師に、『青少年のネット利用状況と情報モラル教育の実践について』という演題でお話を伺いました。

情報モラルとは、情報社会で適正に活動するための倫理で、情報モラル＝日常モラル×ネットの特性・理解×想像力・判断力。子どもたちには、ぜひ身に付けてもら

水戸市青少年相談員全体研修会

R2.2.18



カードを使った意見交換では、5枚のカードのうち自分が一番言われてイヤなカードを選びます。グループ内でも意見はさまざまで、「イヤな言葉」は人によって全然違う。相手の「イヤな言葉」が自分の「イヤな言葉」と同じではない。自分と相手との違いをつくづく実感することができました。

ネットやケータイは利便性が高い一方、危険なツールとも言えます。子どもたちには情報モラル教育を継続して行い、ルールの遵守やマナー意識を持って、これからの情報社会を健全に生き抜き、積極的に情報社会に参画して行ってもらいたいものです。

(小 坏)

令和元年度青少年相談員実務研修会

企画運営部長 大森 ますみ

1月18日、市役所本庁舎にてPTAと青少年相談員との研修会を開催しました。

私たち相談員が、現在子育て真っ最中のPTAの方々からお話を伺って、少しでも実情を把握したいという思いで、「青少年の現状を知る」というテーマを設けました。相談員42名、市内各小学校・中学校・高等学校のPTAから26名、計68名の参加があり、近年の青少年の現状に関心が高い方が多いと感じました。

研修会の流れは、PTAの方々と相談員が6つのグループに分かれて、自分の意見を付箋紙に貼り、



それを基に意見を交換をしてもらい、最後にグループの代表者から発表をしていただきました。

最も多い話題は「スマホ、SNSでのトラブル、いじめ。」「手はかからない良い子だがストレスの捌け口は?」また「相談員のように声かけや挨拶がきっかけとなって悩みなどを引き出せたら」などの意見が出されました。またあるグループからは、「青少年相談員って何をやっているの? 補導だけ?」など活動を理解されていない事にごっかりしました。広報活動がもっと必要なのでしょうか。

正味1時間程の研修会では一人ひとりが話し足りないとの意見を聞き、このような場をまた企画したいと思いました。



第3ブロック研修会

R2.2.8

小美玉市四季文化館で開催された研修会は、筆跡診断士の小山田香代氏の講演と、小美玉市、ひたちなか市、城里町の3地区による事例発表がありました。

『文字のちから』望んだとおりの変化が起こる文字の書き方』との演題には、最初は半信半疑でしたが、実際に説明を受けながら書いてみたりするうちに、「なるほどなあ」と思えて来ました。

中でも、子どもと大人では同じ文字でも書き方の注意点が異なるという話や、文字に書き手の性格

や精神状態が表れるという話は、とても興味深く印象に残りました。

事例発表は、主に相談員としての活動内容でしたが、どの地区でも子どもたちの姿が見受けられなくなったという点が挙げられていました。

時間を押しての盛りだくさんの内容でしたが、大変有意義な研修会でした。(池田)



茨城県青少年相談員研修大会

R1.10.29

第49回茨城県青少年相談員研修大会が県庁で開催されました。今年度も青少年の健全育成に多年にわたり地道に活動を続けられた112名の方々が知事ほう賞、功労者表彰を受賞され、水戸市からは11名の方が表彰されました。

講演会は、「安全・安心なインターネットとの付き合い方」と題して、お茶の水女子大学教授坂元

章氏より講話がありました。「ネット依存やツイッター関連のトラブル、映像投稿問題などが広がっている。」「ネットの活用と安全の両立を望むには、大人の役割として教える、ルールを作る、手本や相談相手になる事と子どもを守る事が大事である。」と話されました。(齊藤)

青少年の健全育成に協力する店

登録活動について

水戸市青少年相談員連絡協議会事務局

令和元年10月から11月の地区補導実施日に、青少年相談員の皆様との御協力を頂いて、「青少年の健全育成に協力する店」登録活動を実施いたしました。

この活動は、コンビニやカラオケ、ゲームセンターなど、青少年に関係の深い店舗を訪問し、青少年の健全育成に向けた取組にご協力いただけるよう対象店舗に制度の説明を行い、御協力いただける

店舗には啓発品のステッカー掲示などを呼びかけるものです。

皆様のご協力により、今年度は全体で269店舗に訪問し、また新たに10店舗から登録の承諾をいただきました。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

ができません。そのため、うまくいった時には誉めることが必要です。ダメ出しのみでは効果がなく、誉め過ぎる。その中にダメ出しを少し入れるのがポイントだそうです。いつの場合でも、相手を誉める事って大切だなあと思い研修を終えました。



水戸市成人の日 式典の特別補導

R2.1.12

水戸市成人の日式典が、初めてアダストリアみとアリーナで開催され、青少年相談員13名が特別補導に参加しました。

式典が11時からにも関わらず、9時前から新成人が集まって来て、会場は華々しい雰囲気。アトラクションでは、卒業中学校対抗のバスケットボール対決で大変盛り上がり上がっていました。

式典後、一部騒いでいる新成人

社会環境向上研修会

講演 「発達障害への理解を深める」

講師 常磐大学心理学科教授 秋山 邦久氏

令和2年2月1日、桜川市民センターにて40名が参加しました。発達障害の人はコミュニケーションのとり方が異なっているため、その特性を理解することが必要です。社会性というものは、日常生活と遊びの中で身につけていくものですが、発達障害の人の場合は訓練によってのみ身につけること

ができません。そのため、うまくいった時には誉めることが必要です。ダメ出しのみでは効果がなく、誉め過ぎる。その中にダメ出しを少し入れるのがポイントだそうです。いつの場合でも、相手を誉める事って大切だなあと思い研修を終えました。

(飯村)



もいましたが、入場制限なども厳しかったおかげで、大きな騒動もなく、無事相談員としての任務を果たすことができました。



編集後記

ここ数年、落語にはまり、公演に度々足を運んでいる。古典落語は江戸の町が舞台。スマホなど出てくる由もなく、分からないことは何でも長屋のご隠居さんに尋ねます。最近、質問が苦手な若者が増えていると聞きます。ネットで検索すれば簡単に答えが見つかるのも要因の一つと考えますが、過度なまでの社会の閉鎖性も影響しているかな？と。プライバシーの保護は当然大切ですが、もっと気軽に人と関わりあえる社会づくりも大人の役目と考えるこの頃です。

(生井沢)